

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	保健推進員協議会活動費補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	040200 - 204	■会計区分	国民健康保険特別会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	地域ぐるみ市民ぐるみの健康づくり運動の推進。ヘルスアップ教室開催、地区での健康づくり活動の推進、市の保健活動への協力、研修会、講演会等開催、国保等の大会・研修会参加			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	保健推進員協議会活動費補助金	保健推進員協議会	ヘルスアップ教室16地区 ウォーキング教室16地区 研修会・講演会の開催国保等の大会・研修会参加	ヘルスアップ教室22回423人 ウォーキング教室19回474人 研修会・講演会の開催2回 前期164人 後期162人

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	347	352	352	352	
人件費	894	976	534	1,076	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,241	1,328	886	1,428	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	ヘルスアップ教室の参加者数	555人	465人	378人	423人	地区交流センターとの協働など地域住民への周知が浸透してきた
03	保健推進員になり、役に立った(よかった)と思う人の割合	72.0%	80.5%	77.5%	80.2%	役に立った(よかった)と思う保健推進員数÷アンケート提出数×100
04	参加者数一人当たりコスト	2,236円	2,855円	2,343円	3,375円	フルコスト/ヘルスアップ教室参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

自主活動・全体研修会が計画通りに実施された。任期2年目の保健推進員のアンケートの結果で保健推進員になり役に立ったと思う人の割合が上昇した。

問題点・課題等

地域差があるため、自主活動(ヘルスアップ教室等)開催する際、企画がスムーズにいかないことがある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

二年任期であるが保健推進員を引き受ける担い手が減っているの  
で、新任期研修や活動内容を見直す。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了